

「高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究」

東北ブロックシンポジウム

TOHOKU BLOCK SYMPOSIUM

－高次脳機能障害者の社会参加推進のため－

対 象：高次脳機能障害者にかかわる医療・福祉・教育・行政機関担当者
高次脳機能障害当事者および当事者家族 一般市民

参加費：無 料

第1部 「高次脳機能障害の臨床的対応」

座長／東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野教授

森 悦朗 先生

「高次脳機能障害の基礎的理解」

山形大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学講座教授

鈴木 匡子 先生

「高次脳機能障害の自動車運転について」

産業医科大学 リハビリテーション医学講座教授

蜂須賀研二 先生

第2部 「高次脳機能障害の社会的対応」

座長／(財)いわてリハビリテーションセンター 理事長

高橋 明 先生

「岩手県の高次脳機能障害 支援普及事業の実績と今後の展望」

(財)いわてリハビリテーションセンター
高次脳機能障害支援コーディネーター

上田 大介 先生

「高次脳機能障害支援普及事業の 動向と今後の展望」

国立障害者リハビリテーションセンター
高次脳機能障害情報・支援センター長

中島八十一 先生

平成25年

と き

10月27日(日)

13:00~16:30

と ころ

岩手県産業会館
大ホール

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目2-1
TEL.019-626-8152



- 主 催：厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業「高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究」東北ブロック
- 後 援：岩手県 秋田県 青森県 山形県 宮城県 福島県
- 開催実行委員長：森 悦朗（東北ブロック統括責任者）（東北大学医学系研究科高次機能障害学分野 教授）

■申し込み先

岩手県 (財)いわてリハビリテーションセンター
info@irc.or.jp FAX/019-692-5807
担当/上田

■問い合わせ先：東北薬科大学病院 言語心理部 目黒 祐子

電話/022-259-1221(内線574) FAX/022-395-8768(直通)

医療・福祉・行政・教育機関関係者の方は事前申し込みが必要です。

岩手県外の申込み kojino@hosp.tohoku-pharm.ac.jp までお申し込みをお願いします。

申し込み締め切り/10月18日(金)（締め切りを過ぎましても当日受付可能です）

プロフィール

鈴木 匡子 先生

山形大学大学院医学系研究科
高次脳機能障害学講座教授

1984年 3月 山形大学医学部医学科卒業
1984年 4月 東北大学医学部脳疾患研究施設脳神経内科入局
1986年 4月 メルボルン大学神経心理学、オースチン病院にて客員研究員として臨床研修
1988年 4月 東北大学医学部神経内科
1995年 4月 東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻高次脳機能障害学 助手
1997年 7月 同 講師
2007年 4月 山形大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学教授
2008年 12月 山形県高次脳機能障がい者支援センター顧問 就任 現在に至る
学 会 等 日本神経心理学会：理事、会則委員会委員長、神経心理学編集委員
日本高次脳機能障害学会：評議員、あり方委員会委員
日本Awake Surgery研究会運営委員、義肢下脳手術ガイドライン作成ワーキンググループ委員
International Neuropsychological Society
Movement Disorder Society
日本神経学会、日本神経科学会、日本リハビリテーション医学会
日本神経眼科学会 各会員

上田 大介 先生

(財)いわてリハビリテーションセンター
高次脳機能障害支援コーディネーター

平成 5年 東北福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科卒業
平成 5年 重度心身障害児(者)通園施設「仙台つとむの家」指導員
平成 10年 在宅介護支援センター川口 ソーシャルワーカー
平成 12年 岩手県社会福祉協議会 施設福祉課主事
平成 16年 岩手県社会福祉協議会 ボランティア活動センター主事
平成 17年 いわてリハビリテーションセンター 医療社会事業士
現在に至る
資 格 等 平成15年 社会福祉士資格取得
平成18年 介護支援専門員資格取得
平成18年～岩手県社会福祉協議会・介護サービス情報公表事業委員
平成23年～岩手県社会福祉士会・理事
平成23年～盛岡ブロック社会福祉士会・事務局長

蜂須賀研二 先生

産業医科大学
リハビリテーション医学講座教授

昭和50年 3月 慶応義塾大学医学部卒業
昭和54年 6月 慶応義塾大学病院リハビリテーション・センター、助手
昭和55年 4月 慶応義塾大学月ヶ瀬リハビリテーション・センター、助手
昭和59年 7月 Peripheral Nerve Center, Mayo Clinic and Foundation, research fellow(昭和61年3月まで)
昭和62年 7月 産業医科大学リハビリテーション医学講座講師
平成 3年 11月 産業医科大学リハビリテーション医学講座助教授(平成11年5月まで)
平成 11年 6月 産業医科大学リハビリテーション医学講座教授
平成20年 4月 産業医学情報教育施設長(平成24年3月まで)
学 会 等 日本リハビリテーション医学会(元)理事、評議員、九州地方会元代表幹事
日本義肢装具学会(元)理事、評議員、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会(元)理事
評議員、日本脊髄障害学会(元)理事、評議員、認知神経科学会理事
評議員、日本職業・災害医学会理事、評議員
高次脳機能障害支援拠点機関等全国連絡協議会委員
福岡県高次脳機能障害支援モデル事業地方支援拠点機関委員
Journal of Rehabilitation Medicine International, International Panel
Archives Physical Medicine and Rehabilitation, Section Editor

中島八十一 先生

国立障害者リハビリテーションセンター
高次脳機能障害情報・支援センター長

昭和51年 3月 順天堂大学医学部卒業
昭和51年 5月 医師国家試験合格
昭和51年 6月 順天堂大学医学部神経学講座専攻生
昭和53年 10月 順天堂大学医学部神経学講座助手
昭和54年 7月 国立国府台病院神経内科研修生
昭和55年 1月 順天堂大学医学部神経学講座助手
昭和60年～61年 ヘルギー・ブリュッセル自由大学脳研究部門出向
昭和62年 8月 順天堂大学医学部神経学講座講師
平成 6年 7月 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
感覚機能系障害研究部視覚機能障害研究室長
国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
感覚機能系障害研究部長
平成 9年 7月 東京大学大学院教育学研究科教授(併任)
(厚生省から文部省への移管)
平成18年 4月 国立障害者リハビリテーションセンター学院長
平成24年 4月 国立障害者リハビリテーションセンター高次脳機能障害情報・支援
センター長(併任)
学 会 等 日本高次脳機能障害学会理事。
『高次脳機能障害ハンドブック-診断・評価から自立支援まで』(医学書院)
の編者でもある。

高次脳機能障害者支援拠点機関一覧

青森県	財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	TEL 0172-28-8220(代)
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	TEL 018-892-3798(直)
岩手県	財団法人 いわてリハビリテーションセンター	TEL 019-692-5800(代)
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター・国立病院機構山形病院 山形県庄内高次脳機能障がい者支援センター 庄内医療生活協同組合鶴岡協立リハビリテーション病院	TEL 023-681-3394(代) TEL 0235-78-7511(代)
宮城県	宮城県リハビリテーション支援センター 学校法人 東北薬科大学病院	TEL 022-784-3592(代) TEL 022-259-1221(代)
福島県	財団法人 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院	TEL 024-934-5564(直)

会場案内

徒 歩 盛岡駅から15分 自動車 盛岡南インターから約20分

バ ス 盛岡駅から約7分 盛岡駅前バスのりば16番より「盛岡都心循環バス」『でんでんむし』左回り乗車「盛岡城跡公園」下車

平成 25 年 月 日

いわてリハビリテーションセンター

高次脳機能障がい担当 宛

(F A X 0 1 9 - 6 9 2 - 5 8 0 7)

※添書不要

「高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究」東北ブロックシンポジウム

高次脳機能障害者の社会参加推進のために参加申込書

市 町 村 名 _____

機 関 名 _____

記入担当者名 _____

電 話 番 号 _____

氏 名	職 名	備 考

参加申込期限：平成 25 年 10 月 18 日（金）必着

提 出 先：いわてリハビリテーションセンター高次脳機能障がい担当〈担当：柴田・松川〉

F A X 0 1 9 - 6 9 2 - 5 8 0 7

